

むらさきそう

西東京市立田無第一中学校
校長 辻 康一

(住所) 西東京市南町6-9-37 (電話) 042-462-2811

カラー版はホームページで

URL <https://www.nishitokyo.ed.jp/j-tanashi1/>



人との豊かな関わりで咲く

まだまだ、寒い日が続いているが、「冬来たりなば、春遠からじ」。春を告げる梅や桜は、その準備を始めています。梅も桜も長い寒い冬が終わるときに一斉に咲くので、私たち日本人にとって古より本当に待ちこがれる花なのです。梅も桜も、寒い間、土の中の根に養分や水分をため、幹や枝に送り込み、花や葉をつけるのを待ち、いっせいに花を咲かせます。私たち人間も同じかもしれません。長く苦しい時を、なんとか乗り越えれば必ず春が来る、花が咲く時が来るのです。この春卒業する中学3年生は、今までの学習や経験、豊かな人との関わりで蓄えた栄養を使い、それぞれの個性ある花を咲かせてほしいと願っています。

曹洞宗を開いた道元の教えの中に「花、紅にして美なりといえども一人開くにあらず、春風（はるのかぜ）來たりてはじめて開くなり」という意味深い言葉があります。人間が人生の花を咲かせるのは、自らの努力と共にそれを支え、春の風のようにあたたかく励ましてくれる多くの人の存在を忘れてはいけないという教えです。

中学生は、授業、部活動、係活動、運動会や合唱コンクールなどの行事で、多くのことに頑張り・学び・成長しています。しかし、学校生活の様々な場面に打ち込むことができるのは、常にみんなのそばにいる多くの先生方や保護者の方たち、友達がいるからなのです。その方たちがみんなに寄り添い励まし、時には叱り、成長させてくださっているおかげでみんなの個性の花が咲くのです。そのことを常に忘れずに感謝の気持ちをもって前に進みましょう。

もう一つ、相田みつをさんの言葉を紹介します。

「美しい花を見た 美しい花は美しい枝についている 美しい枝は美しい幹についている 美しい幹は美しい根っこがささえているに違いない」

美しい根っこ作り、強い根っこ作り、土台作りのために、しっかり毎日学習を積み重ね、豊かな人間関係を大事にして、それぞれの美しい個性の花を咲かせましょう。

令和6年度もゴールが近くなってきました。3年生のみなさんは、苦しい時がもう少し続きます。けれども、みなさんは一人ではありません。もちろん先生たちもみなさんの気持ちに寄り添い応援しています。1年生も2年生も、田無一中の生徒同士、お互いに励まし合い、支え合って過ごし、乗り切りましょう。

【全学年】 道徳地区公開講座（1月11日）

1月11日（土）に実施した道徳授業地区公開講座では、全校共通で「社会参画、公共の精神」という内容項目で道徳の授業を行い、授業を受けての協議会を行いました。協議会には、保護者のみなさんや地域の方にもご参加いただき、参観した授業の感想や今後の道徳の授業で充実してほしい内容などについてお話をいただきました。授業の展開についてや、生徒から出た意見についてもご感想をいただき、貴重な時間となりました。



【全学年】 校内書初め展（1月9日～1月17日）

1月9日（木）から17日（金）の期間で、校内書初め展を行いました。書写の授業で学習したことが生かされた、美しい作品が多く並びました。1年生は「庭の月影（楷書）」か「発展途上（行書）」を、2年生は「朝日が昇る（楷書）」か「郷土の誉れ（行書）」を、3年生は「志を遂げる（楷書）」か「穏やかな海（行書）」を、I・J学級は「朝日が昇る（楷書）」を丁寧に仕上げていました。学びを硬筆にも応用し、字形やバランスの整った文字を意識してほしいと思います。



【1年生】 スキー移動教室（1月21日～1月23日）

1月21日（火）から23日（木）の3日間、初めての宿泊行事となるスキー教室を実施し、長野県菅平にあるホテル柄澤に宿泊しました。スキーの経験が無い生徒も多く、最初はスキー板をつけることさえも難しさを感じていたようでした。3日間とも晴天に恵まれ、真っ白なゲレンデでは汗をにじませながら実習をし、時折来る冬の風すらも心地よく思えるほどでした。宿舎では時間を意識した行動ができ、マナーや活動を共にする友達の事を考えて行動することができました。学校生活でも力を出し惜しみせず、自分たちのできること、やるべきことに全力で取り組んでほしいと思っています。

